

## 2. 福岡市における PM<sub>2.5</sub> の成分組成と発生源解析

環境科学課 山下 紗矢香  
博多区衛生課 肥後 隼人  
環境科学課 木下 誠

### 第 39 回九州衛生環境技術協議会

福岡市の市役所測定局において 2012 年度の季節ごとに PM<sub>2.5</sub> のサンプリングを行い、質量濃度、炭素成分、イオン成分、金属成分の成分分析を行った。いずれの成分も春季に濃度が高く、夏季に濃度が低い傾向が見られた。硫酸イオン多く、年平均値で質量濃度の 3 割を占めていた。また、成分分析結果からレセプターモデル (PMF 法) による発生源解析を行った結果、福岡市における PM<sub>2.5</sub> の発生源の寄与が最も高かったのは「石油燃焼+硫酸系 2 次生成粒子」で、特に春季に高い傾向が見られた。